

防災ニュース No.5



野路自主防災組織事務局
発行責任者 福井太加雄
平成 21 年 1 月 15 日発行

避難誘導訓練を実施

11月30日(日)蓮池グラウンド(集合場所)に各第1次集合場所から集結場所へ移動し午前10時から開始で実施しました。

1. 訓練のテーマは

- ・各第1次集合場所での取組み
- ・炊き出し訓練の実施
- ・事故防止に努める



2. 全体的な活動は

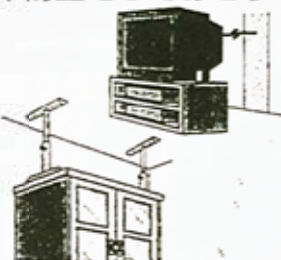
- ・ 各避難は第1次集合場所に集合し、統一活動で、集結場所へ移動した。
 - ア 対象人員の多い場所は、班を編成し、班長を配置した。
 - イ 班長の役割は、参加人員を把握(連絡は各代表に大人、子供別に記載)分団責任者に報告した。
 - ウ 避難集結場所へ移動するときは、班長が避難誘導中の旗をもち前後に立ち交通事故等あわないよう十分注意しながら誘導した。
 - エ 分団責任者は避難集結場所で本部に避難状況表を提出し完了報告をした。
 - オ 当日の参加者は791名でした。
- ・ 炊き出し訓練を実施し、健康推進員の援助を受け炊き出し「おにぎり 1,500個」をつくり蓮池グラウンドで参加者全員に「おにぎり」「非常食」を支給した。
- ・ 避難集合場所(蓮池グラウンド)の整備を行い事故防止に努めた。
 - ア 分団ごとに整列させた
 - イ 体験(地震体験・煙中体験)の際の誘導とそれぞれの場所に警戒員を配置した。
 - ウ 体験に分団ごとに誘導し整然と実施した。



地震に対する10の備え

○家具類の転倒・落下防止をしておこう

- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒や落下防止措置をしておく。
- けがの防止や避難に支障のないように家具を配置しておく。



○けがの防止対策をしておこう

- 避難に備えてスリッパやスニーカーなどを準備しておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラス飛散防止措置をしておく。



○家屋や塀の強度を確認しておこう

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。



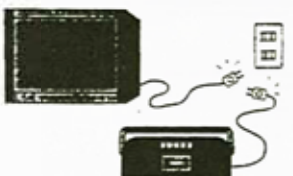
○消火の備えをしておこう

- 小さな揺れの時には、火の始末をする習慣をつけておく。
- 火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水の汲み置きをしておく。



○火災発生の防止対策をしておこう

- 普段使用しない電気器具は、差込プラグをコンセントから抜いておく。
- 電気やガスに起因する火災発生防止のため感震ブレーカー、感震コンセントなどの防災機器を設置しておく。



○非常用品を備えておこう

- 非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。



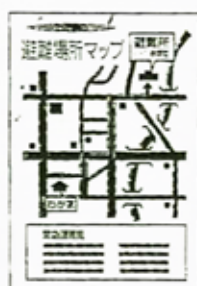
○家族で話し合っておこう

- 地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 家族が離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 普段の付き合いを大切にするなど、隣近所との協力体制を話し合っておく。



○防災環境を把握しておこう

- 地域の防災マップに加えて、わが家の防災マップを作っておく。
- 自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。



○過去の地震の教訓を学んでおこう

- 消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。
- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから防災の知識を身につけておく。



○知識・技術を身につけておこう

- 日ごろから防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身につけておく。

